

コード	40101
作成年度	26年度

基本事業評価表

基本事業名称	後継者の育成
--------	--------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	水産業の振興

課コード	116	関係課名
主管課名	水産課	

基本事業の目的

漁業就業者の減少と高齢化が進行する中、持続的な漁業生産と漁村の維持のため、新規漁業就業者の定着を目指し、担い手確保推進事業等を実施して後継者を育成することを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	漁業担い手の確保	成果指標名称 2	
成果指標の積算根拠	新規漁業就業者数÷目標数値	成果指標の積算根拠	
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	
目標達成数値	21人	目標達成数値	

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	人	21	21	21	21	21
	実績 B		人	7	8	7	10	-
	達成率 B/A		%	33.3	38.0	33.3	47.6	
成果指標 2	目標 A	単位						
	実績 B							-
	達成率 B/A		%					

1次評価	現状	平成25年度の新規漁業就業者は他業種より定置網へ5名、自営漁業へ3名、巻網へ1名の着業があった他、新規学卒として定置網へ1名、魚類養殖へ1名、巻網へ3名のあわせて14名の着業があったが、定置網就業5名の内4名は3月までに離職してしまった。また、平成22年度より継続してIターン者1名が漁業技術習得支援事業を利用している。
	課題	平成25年度は他業種からの着業が9名あったが、半数は1年以内に離職してしまった。労働条件の改善と副業も含めた所得の向上対策が必要である。また、新規学卒者は貴重な漁業後継者となる可能性があり、将来にわたって本町で暮らしていけるような全体的な生活環境の充実・サポート体制が必要である。
	改善	新規就業者への長期間のサポートや漁業経費の軽減及び副次的な収入の確保が必要である。

2次評価	本町の基幹産業である水産業を今後とも健全な産業として発展させるためには、経営基盤の強化と、担い手の育成・確保が重要である。新規就業者の独立を支援し漁業の担い手の確保を図るため、事業については選択と集中による見直しを行うなど、持続的な漁業生産と漁村維持のためのサポート体制を充実させること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	401010101	後継者育成補助事業（21世紀の漁業 担い手確保推進事業）	水産課	1,455千円	（途中） 事業内容を見直して継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				1,455千円	